

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月15日

上場会社名 アトラグループ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6029 URL https://www.artra-group.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 久世 博之  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 田中 克典 (TEL) 06-6533-7622  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	970	△1.0	17	—	20	—	△113	—
2025年12月期第1四半期	979	△6.1	△19	—	△16	—	△19	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 △115百万円( —%) 2025年12月期第1四半期 △18百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	△11.08	—
2025年12月期第1四半期	△1.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,378	1,586	46.8
2025年12月期	4,127	1,695	41.1

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,579百万円 2025年12月期 1,694百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	△25.7	50	94.7	58	91.5	△80	—	△7.79
通期	2,400	△38.9	120	△14.8	130	△12.5	△25	—	△2.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有  
新規 一社(社名) 一、除外 1社(社名) 株式会社ペリカン
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	10,287,000株	2025年12月期	10,287,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	20,266株	2025年12月期	20,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	10,266,734株	2025年12月期1Q	10,266,734株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループのコア事業であるA-COMS（エーコムス）事業は、鍼灸接骨院向け基幹システムとしての市場地位を強固にしております。新規開業院への導入に加え、他社システムからの乗換契約の獲得も加速し、サブスクリプション型収益基盤が着実に拡大しております。さらに、A-COMSプラットフォームの拡張性を活かした医療（再生・歯科等）・リラクゼーション・エステ市場への事業領域拡大を進め、最先端技術の取り込みを通じ、鍼灸接骨院を中心とした「リバース・エイジング（若返り）」経営支援プラットフォームとして、収益機会の多様化を加速させ、次の成長エンジンが着実に動き始めております。

かかる中、当社グループは、コア事業への経営資源集中を加速させる戦略的判断のもと、2026年3月31日付で玩具販売事業を営む連結子会社株式会社ペリカンの全株式を譲渡いたしました。本件は「選択と集中」を実行に移すものであり、当社グループが次の成長ステージへ踏み出すための重要な一歩と位置付けております。

このような状況の下、国内約50,000院の鍼灸接骨院市場において、約3,000院への導入実績を有する当社グループの基幹システムであるA-COMSプラットフォームを活用し、医療連携、自費診療支援、EC機能強化、リラクゼーション・エステ市場への横断的展開を目指し、業績向上と企業価値向上に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高が970,368千円（前年同期比1.0%減）、営業利益が17,525千円（前年同期は営業損失が19,890千円）、経常利益が20,451千円（前年同期は経常損失が16,372千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失が113,736千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失が19,717千円）となりました。営業利益・経常利益においては2019年第1四半期以来7年ぶりとなる黒字転換を達成し、収益基盤の改善が着実に進捗しております。

セグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

#### (A-COMS事業)

当セグメントの売上高は596,845千円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益は23,881千円（前年同期はセグメント損失が1,493千円）となりました。

支援内容別の概要は以下のとおりであります。

#### ・ほねつぎチェーン

既存の鍼灸接骨院の加盟促進及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は136,404千円（前年同期比7.5%増）となりました。

#### ・機材、消耗品販売

療養費が減少傾向となる中、保険適用外の症状改善の自費施術や、予防に係る自費施術を拡大することで、療養費に過度に依存しない体制の構築が業界全体の課題となっております。当社グループは、営業活動とセミナーの開催をとおり、自費施術に使用する機材の拡販に注力しました。

この結果、売上高は163,556千円（前年同期比2.6%減）となりました。

#### ・アトラ請求サービス

新規開設院の入会及び他社システム利用院の乗換え契約の獲得に注力しました。当社グループが開発したA-COMSの拡張性を活用し、サービス内容の拡充を図りながら、実用性の向上と鍼灸接骨院の経営支援を行ってまいりました。

この結果、売上高は151,861千円（前年同期比4.4%増）となりました。

#### ・HONEY-STYLE

鍼灸接骨院のロコミ／予約システムであるHONEY-STYLEの利用院増加に注力しました。

この結果、売上高は23,135千円（前年同期比40.5%増）となりました。

#### ・介護支援

ほねつぎデイサービスの加盟店開発、既存加盟店のロイヤリティ収入の拡大及び直営店の売上拡大等に注力しました。

この結果、売上高は106,294千円（前年同期比4.5%増）となりました。

・その他

売上高は15,592千円（前年同期比25.0%減）となりました。

(玩具販売事業)

当セグメントの売上高は373,523千円（前年同期比6.7%減）、セグメント損失は7,254千円（前年同期はセグメント損失が18,044千円）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ749,002千円減少し、3,378,652千円となりました。これは主に、現金及び預金が140,453千円増加したものの、商品が369,539千円減少したことによるものであります。

(負債)

当四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ639,846千円減少し、1,791,817千円となりました。これは主に、買掛金が238,704千円及び長期借入金が211,731千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ109,156千円減少し、1,586,835千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失を113,736千円計上したことによるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,128,639	1,269,092
売掛金	364,997	282,972
営業貸付金	414,255	385,497
商品	598,127	228,588
その他	280,630	73,057
貸倒引当金	△564	△455
流動資産合計	2,786,085	2,238,753
固定資産		
有形固定資産	146,247	119,444
無形固定資産	116,313	122,173
投資その他の資産		
投資有価証券	689,716	683,969
その他	440,774	265,794
貸倒引当金	△51,483	△51,483
投資その他の資産合計	1,079,007	898,280
固定資産合計	1,341,569	1,139,898
資産合計	4,127,654	3,378,652
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	302,012	63,307
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	207,895	165,499
未払法人税等	15,074	4,673
賞与引当金	19,080	12,330
ポイント引当金	6,773	5,681
収納代行預り金	608,569	586,439
その他	229,271	199,963
流動負債合計	1,398,676	1,047,895
固定負債		
社債	35,000	30,000
長期借入金	797,947	586,216
退職給付に係る負債	77,433	62,278
資産除去債務	106,725	51,965
その他	15,880	13,461
固定負債合計	1,032,986	743,921
負債合計	2,431,663	1,791,817
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	1,726,670	1,677,930
利益剰余金	△51,235	△116,231
自己株式	△159	△159
株主資本合計	1,685,275	1,571,539
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,715	8,295
その他の包括利益累計額合計	9,715	8,295
新株予約権	1,000	7,000
純資産合計	1,695,991	1,586,835
負債純資産合計	4,127,654	3,378,652

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	979,744	970,368
売上原価	655,303	631,596
売上総利益	324,441	338,771
販売費及び一般管理費	344,332	321,245
営業利益又は営業損失(△)	△19,890	17,525
営業外収益		
受取利息	592	1,386
受取手数料	2,172	2,165
助成金収入	494	327
解約料収入	540	—
投資事業組合運用益	4,292	2,325
その他	100	61
営業外収益合計	8,193	6,265
営業外費用		
支払利息	3,477	3,288
その他	1,197	50
営業外費用合計	4,675	3,338
経常利益又は経常損失(△)	△16,372	20,451
特別利益		
固定資産売却益	—	1,042
特別利益合計	—	1,042
特別損失		
固定資産除却損	0	0
関係会社株式売却損	—	130,301
特別損失合計	0	130,301
税金等調整前四半期純損失(△)	△16,372	△108,807
法人税、住民税及び事業税	4,444	4,251
法人税等調整額	△1,099	676
法人税等合計	3,345	4,928
四半期純損失(△)	△19,717	△113,736
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△19,717	△113,736

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純損失(△)	△19,717	△113,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,262	△1,419
その他の包括利益合計	1,262	△1,419
四半期包括利益	△18,455	△115,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,455	△115,156

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	A-COMS事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	579,302	400,442	979,744	—	979,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,483	—	12,483	△12,483	—
計	591,785	400,442	992,228	△12,483	979,744
セグメント損失(△)	△1,493	△18,044	△19,538	△351	△19,890

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△351千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント損失(△)は、連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	A-COMS事業	玩具販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	596,845	373,523	970,368	—	970,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27	—	27	△27	—
計	596,872	373,523	970,395	△27	970,368
セグメント利益又は損失(△)	23,881	△7,254	16,626	899	17,525

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額899千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3 前第4四半期連結会計期間より、事業内容を適正に表示するため、従来「鍼灸接骨院支援事業」としていた報告セグメントの名称を「A-COMS事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間についても変更後の名称で記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産及び長期前払費用に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	37,075千円	21,860千円